

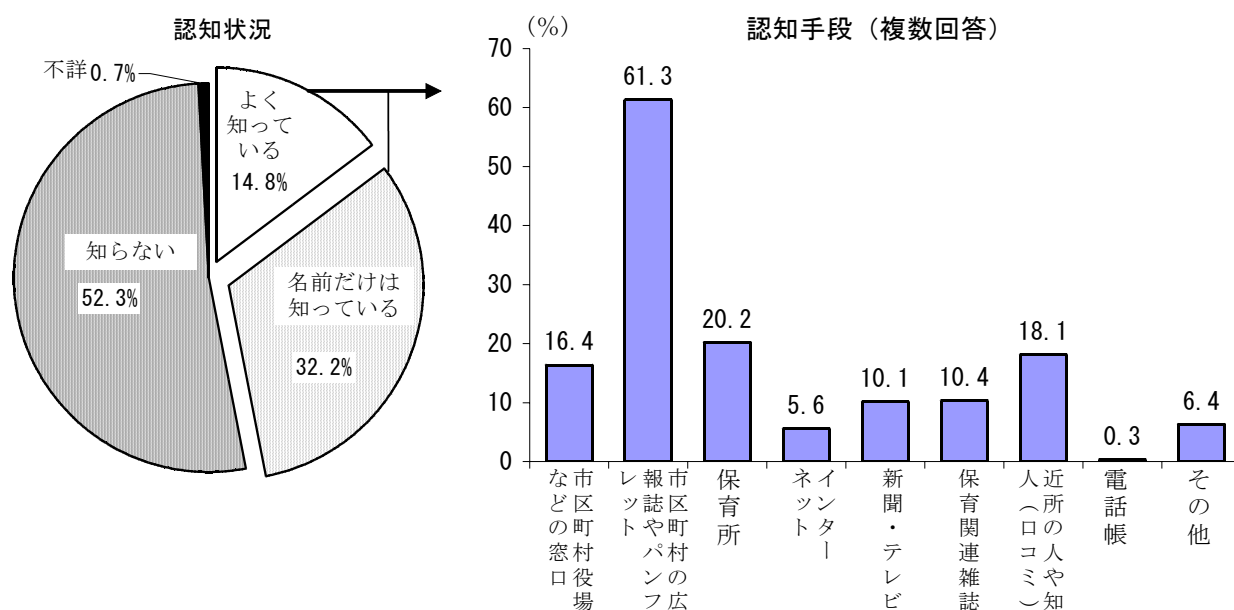
6 ファミリーサポートセンターの認知状況

ファミリーサポートセンターの認知状況をみると、「よく知っている」14.8%、「名前だけは知っている」32.2%を合わせた割合は47.0%となっている。

「よく知っている」「名前だけは知っている」世帯について、どのような手段でファミリーサポートセンターを知ったか（複数回答）をみると、「市区町村の広報誌やパンフレット」が61.3%と最も多く、次いで「保育所」が20.2%となっている。（図4）

図4 ファミリーサポートセンターの認知状況－認知手段（複数回答）

平成18年10月1日現在



ファミリーサポートセンターとは、市町村等で設立運営しているもので、育児の援助を受けたい人と援助を行いたい人が会員となって、育児を助け合うものです。サービス内容は「保育施設の保育開始時間前や終了時間後に子どもを預かる」、「保育施設までの送迎」、「子どもが軽度の病気の場合等、臨時に子どもを預かる」等があります。